

えびの

市議会 だより

第140号

令和6年4月19日

Ebino City Assembly Report 2024/4/19 Vol.140



6月定例会は5月31日(金)開会予定

当初予算です

一般会計当初予算 144億4,000万円

出

※()内は前年度予算額になります

議会費

1億4千77万4千円
(1億3千980万2千円)

民生費

44億9千855万4千円
(44億5千219万6千円)

総務費

28億1千781万8千円
(26億7千19万1千円)

福祉に関すること

- 障害福祉人材就職支度金……………100万円
障がい福祉人材確保のため、市内の障がい福祉施設への就職が内定した専門職に対する、就職準備等の費用としての支度金を給付するものです。
- 介護支援専門員等法定研修受講料助成金……………54万円
市内事業所の介護支援専門員及び主任介護支援専門員に対し、資格更新等に要する費用の3/4を助成するものです。

教育に関すること

- 学校給食費無償化事業補助金……………5,812万6千円
小中学生の学校給食費無償化事業に伴う補助になります。



【ちょっと気になる予算】

- 国民スポーツ大会事業費……………339万3千円
本市開催のボクシング競技の円滑な運営に必要な準備を行うための市実行委員会に対する負担金となります。
- 地域商社伴走支援業務委託料……………968万円
地域商社が円滑化に業務を行えるよう業務開始において必要な支援を行うものです。
- 路線バス通学支援補助金……………388万3千円
宮崎交通株式会社が運行する路線バスの通学定期券購入に対する補助金になります。





令和 6 年度

令和 6 年度当初予算のうち
主な新規事業等を掲載しております。

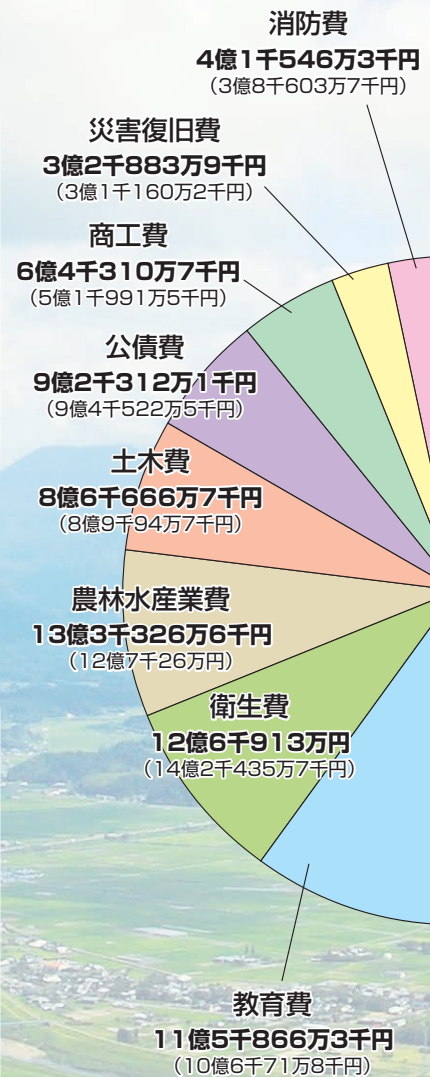
歳

農業に関すること

- **果樹産地生産拡大事業補助金** …………… **556万6千円**
栗の生産拡大を図るための苗木購入費と栗選別機導入の一部を補助するものです。
- **未利用資源活用モデル事業補助金** …………… **700万円**
未利用資源（竹、もみ殻等）を活用し、おが粉に代わる畜産敷料の新たな開発普及への取組を行うものです。

観光・商工に関すること

- **プレミアム付商品券発行事業補助金（重点取組事業）**
…………… **2,245万円**
物価高騰等の影響を受ける市内商工業対策を行うものです。
- **国立公園（霧島）指定90周年を契機としたイベント開催（観光協会補助金）** …………… **1,165万3千円**
国立公園「霧島」指定90周年を迎えたえびの高原への誘客を促進する事業へ補助するものです。
- **白鳥温泉水道施設整備基本計画作成委託料**
…………… **1,049万1千円**
白鳥温泉施設全体への水の安定供給のための水道施設整備基本計画の作成委託料です。
- **かわまちづくり事業（河川公園の整備）** …… **2,829万3千円**
既存の河川公園の維持管理と新たに整備される河川公園の安全性と利便性の向上を図るものです。
- **商工会館建設補助金** …………… **1,550万円**
商工会館建設に対する補助金になります。



1月臨時会 議案概要

令和6年1月臨時会は、1月29日の1日間開催し、報告1件、議案2件について、審査しました。
(各委員会への付託は省略)

【予算に関する議案】

◇報告第1号

専決処分した令和5年度えびの市一般会計予算の補正(第9号)について

歳入歳出それぞれ516万4千円を追加し、補正後の予算総額は、歳入歳出それぞれ159億159万円となります。

*主な事業費

・能登半島地震災害支援費

516万4千円

◇議案第2号

令和5年度えびの市一般会計予算の

補正(第10号)について

歳入歳出それぞれ1億121万5千円を追加し、補正後の予算総額は、歳入歳出それぞれ160億280万5千円となります。

*主な事業費

・低所得者支援事業費

9,217万3千円

・足湯の駅えびの高原管理費

904万2千円

3月定例会 追加議案概要

令和6年3月定例会において、追加議案が提出されました。議案4件について、審査しました。
(各委員会への付託は省略)

【計画に関する議案】

◇議案第36号

第2次えびの市空家等対策計画の策定について

えびの市空家等対策計画が令和5年度で終了するため引き続き、令和6年度から令和10年度までを計画期間とする第2次えびの市空家等対策計画を定めるものです。

【予算に関する議案】

◇議案第38号

令和5年度えびの市一般会計予算の補正(第12号)について

歳入歳出それぞれ1,546万円を追加し、補正後の予算総額は、歳入歳出それぞれ150億7,530万7千円となります。

*主な事業費

・地域介護・福祉空間整備事業費

1,546万円

(市内グループホームの改修工事(老朽化が顕著な浴室等の改修)費を補助)

◇議案第39号

令和6年度えびの市一般会計予算の補正(第1号)について

歳入歳出それぞれ226万6千円を追加し、補正後の予算総額は、歳入歳出それぞれ144億4,226万6千円となります。

*主な事業費

・市県民税賦課業務費

226万6千円

(個人住民税の定額減税に対応するためのシステム改修委託料)

【人事案件】

◇人権擁護委員

栗坂 三枝子 氏
坂本 謙太郎 氏
鶴田 昌子 氏
福重 真諭美 氏



令和6年3月定例会 総務教育 常任委員会 報告

3月定例会において、当委員会に付託された議案15件の審査を行いました。

審査の結果、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決まりました。

以下、主な議案の審査内容を抜粋して報告します。

①議案第4号 えびの市水道事業経営戦略後期計画の策定について

今後の人口減少等に伴う給水収益の減少や施設の老朽化に伴う更新需要の増大など、経営環境が厳しさを増す中、将来にわたり市民生活に必要不可欠なサービスを安定的に提供していく必要があることから、令和6年度から令和9年度までを計画期間とする「えびの市水道事業経営戦略後期計画」を策定したものです。

なお、今回の策定にあたっては、計7回のえびの市水道事業経営戦略策定検討委員会の実施とパブリックコメントを経て策定しました。経営指標の類似団体との比較について、

施設の状況と財務の状況は、県内の給水人口1・5万人から3万人の串間市、西都市、三股町、高鍋町、国富町、門川町を類似団体として比較しています。

Q 令和35年度を目標としている耐震化率について。

A 施設の耐震化については、第3次拡張時の昭和50年代に建てられた柿木原浄水場や、主要な末永、岡元、真幸配水池等については耐震性が低いですが、これらを一気に耐震化を図るのは難しい。

Q 水道料金はできるだけ早く改定することが受益者の公平な負担になると考えるが、そのための水道料金等審議会の発足予定は。

A 令和6年6月の補正予算にて、水道料金等審議会の報酬、費用弁償等を計上し、早ければ令和6年12月に議会へ提案したいと考えている。目標としては、令和7年4月1日から新料金を始められるよう考えている。

②議案第6号 第4次えびの市男女共同参画基本計画の策定について

計画書の内容は、第1章から第4章の4つの章で構成されており、別表として数値目標、巻末に参考資料が付けてあります。

〔第1章・計画の基本的な考え方〕では、1、計画策定の趣旨として、

国際社会や国等での男女共同参画に関する動きに触れ、えびの市での取組の経過等を踏まえ、第3次基本計画の最終年度を終えようとする今もなお、目指す男女共同参画社会の実現には至っていないことや、今後の持続可能な社会、地域づくりにおいて、男女共同参画施策の推進は喫緊の課題として、第4次基本計画を策定する旨を説明しています。

〔第2章・計画策定の背景〕では、本計画策定にあたって念頭におくべき社会情勢等について掲載しています。第1章・第2章は、令和4年度実施の市民意識調査での市民の意識や感覚など踏まえながら記載し、本計画の導入部分としました。この導入部分について第3次基本計画と比較すると、第3次基本計画では、この導入部分は6ページでしたが、今回の第4次基本計画では20ページにわたり、計画本体への導入部分として詳しく記述してあります。（以前、議会の令和4年度決算審査特別委員会審査において、市民意識調査の回答率が低かったことに関連して、今後の計画策定の対応等への質疑、要望等を踏まえ、第3章・計画の内容部分に至るエビデンスとして、上位法や上位計画等を含め、より多くの統計データや様々な傾向等を示す資料などを取り入れることで補完）。

〔第3章・計画の内容〕では、施策

体系として7つの重点目標を掲げ、そこに連なる22の施策の方向によって男女共同参画社会の形成の促進を図ることを示しています。施策の内容として、重点目標1から重点目標7まで、その重点目標ごとに施策内容を掲載しています。

〔第4章・計画の推進〕では、推進体制についてこれまでの体制を継続しつつ、行政内部や審議機関との連携や機能の充実、また市民や関係機関・団体等との連携・協働を強化して計画の進行管理を行います。計画が目指す数値目標を掲げており、第3次基本計画では14項目でしたが、第4次基本計画では30項目に増やし、また、施策や事業の実施の程度、何をどれだけ実施したか以外にも、その施策や事業の実施によって得られる成果や効果の結果がどうだったのかを測るアウトカム指標の設定に努め、より効果的な計画の進捗管理を図ります。

Q 計画が目指す数値目標について、今回は30項目の数値目標を掲げているが、えびの市は未だ男尊女卑が少し根強いと感じている人は多いと思う。この計画の中で男女共同参画を目指すのであれば、市民に対する周知等が少し足りないのではないか。

A 市民の意識として男女共同参画が推進されている市民の割

合つては15・8%と大変低い状況
 になつている。一般的にこのよう
 な話をさせていただくと、市民の皆
 んからは、「そうだね。」と同意は
 いただけるが、実際の家庭や地域、
 様々な場面においては、まだまだ実
 態が伴っていないことも含めて、今
 回の計画が重要だと考えている。ま
 た、計画の進捗を図る上で、何をど
 れだけやつたということではなく、
 それがどういった結果に結びついて
 成果が見えたのか意識する必要が
 あるので、今回の目標を設定した。大
 変難しい計画なので、時機をとらえ
 て様々な機会を通じて啓発を図る。

Q 数値目標14・市の管理職に占
 める女性職員の割合が202
 2年度の12・5%をベースにして、
 6年後の2028年は20%と徐々に
 上げていく目標になつているが、最
 終的には何%を目指すのか。

A 採用時点での募集に対する応
 募自体、女性の割合が低い状
 況なので、その時点の努力が必要だ
 と考えている。まずは、女性が働き
 やすい職場を作る必要があるため、
 今後取り組んでいく。今後、管理職
 の割合を高めるために、まずは係長
 職を高められるよう、女性職員が研
 修を受ける機会や、男性職員と違う
 仕事がないような配慮等が必要だと
 考えているので、庁内全体で意識を
 高めていく。

Q あらゆる場におけるセクシュ
 アルハラスメント（※セクハラ）
 の防止・被害者支援に向けた基
 盤となる啓発の推進の中で、セクハラ
 についての正しい認識の浸透を図
 ると記載がある。セクハラ問題に関
 しては、他自治体の事象が報道等さ
 れていて、ハラスメントに関する認
 識について考えさせられる内容もあ
 る。えびの市内においてもセクハラ
 の正しい認識が年代や個人によつて
 も違いがあるように感じる。正しく
 認識してもらうためにも、市として
 今後力を入れて欲しい。

A セクシュアルハラスメントに
 限らずハラスメントについて
 は、重大な人権侵害であると考えて
 いる。意識の差・認識の差によつて
 感じ方は違うのかもしれないが、被
 害を受けられた人にとっては、深刻
 な状態に陥る可能性もあり、重大な
 問題と考えている。市でもハラスメ
 ントに対する研修は強化していきたく
 いと考えている。毎年機会を通じて
 研修会等を計画しているので、今後
 も継続し、どう伝えていくかに関し
 ても意識しながら取り組む。

Q 令和6年度当初予算での電子
 カルテの関連予算として、保守委託
 料・1,558万3千円。ネット回
 線使用に係る通信運搬費・雑費・サ
 イバー保険料として131万円。合
 計・1,689万3千円を経費とし
 て計上している。

A サイバー保険料を含む131
 万円について、その保険の内
 容や概略について。
Q 電子カルテのサイバー保険の
 内訳については、損害賠償金
 として2億円。復旧作業等に伴い想
 定される人件費、時間外手当等の人
 件費を含めた対応に要する費用とし
 て1億円。合計3億円の保険に加入
 する見込みである。

Q 業務の予定量での年間患者数
 が令和5年度と比べて入院患
 者数が1,794人の増加、外来患
 者数が4,640人の増加となつて
 いるが、この業務の予定量を増加し
 た根拠は。

A 業務の予定量、入院患者数、
 外来患者数の増加理由は、今
 回策定した経営強化プランの重点取
 り組みを着実に実行して、アクショ
 ンプラン等を実行することにより、
 目標とする人数が増加すると見込ん
 でいることから、この数値とした。

総務教育常任委員会

委員長 遠目塚 文美

令和6年3月定例会 産業厚生 常任委員会 報告

3月定例会において当委員会
 に付託された議案14件の審査を
 行いました。

審査の結果、全会一致で原案
 のとおり可決すべきものと決ま
 りました。

以下、主な議案の審査内容を
 抜粋して報告します。

①議案第5号 元気で健幸なえびの 市づくり計画の策定について

本市の人口は65歳以上の割合が4
 割を超え、少子高齢化がますます進
 む傾向にあります。高齢化や生産年
 齢人口の減少が著しく進む中、市民
 一人ひとりが少しでも長く健やかで
 幸せに暮らせるよう健康に関心を持
 ち、健康づくりに取り組むことが、
 将来にわたって地域の維持と高齢社
 会における医療・介護などに係る社
 会保障費の抑制につながり、活力の
 ある社会形成が可能になります。ま
 た、社会参加の機会をつくることや
 地域ネットワークを構築することが、

健康づくりを進めるにあたって重要であり、市民が健康で幸せに暮らせるまち「スマートウエルネスシティ構想」の実現に向けて、市民の健康増進の推進に関する施策について、令和6年度から令和17年度までを計画期間とする「元気で健康なえびの市づくり計画」を策定するものです。

Q スマートウエルネスシティというタイトルが高齢化社会の中に受け入れられにくいのでは。

A 市民が高齢になっても健康で幸せに暮らせるまちという意味で、スマートウエルネスシティという表現を使っている。国の基本方針の中において、自然と健康になれるまちづくりという文言があり、同じ理念でスマートウエルネスシティを含めた一体的な形で計画を策定した。

Q 市民がやるべきこと、市がやるべきことについての検証評価はどのように行うのか。

A 国が令和14年度までを目標設定しており、健康に係る各指標の数値については、すぐに結果が出るものではない。健康について、まず積極的に推進、周知し、健診の受診率向上や運動等へ取り組んでいただいた結果を令和14年度の時点での比較し、その結果を持って各指標の分析評価を行うことにしている。

この計画については、えびの市健康づくり推進協議会の方で毎年度、評価報告、進捗状況報告をさせていたきたい。

Q この減塩（へらしお）マイナス2gの根拠は。

A 減塩（へらしお）マイナス2gは、県の計画と整合性を図るため、市の方でも同様にマイナス2gと掲げた。

Q 取組にあたって広報や周知はどのように行うのか。

A ホームページまた広報誌に特集号を組む予定であり、定期的に連載をしていきたい。また、地域福祉推進会議の場や、特定健診の場、後期高齢者の受給者証の交付の際等あらゆる場での周知を図りたい。

Q ポイント制の活用で使用する活動量計とスマートフォンアプリはどのようなものか。

A 活動量計については、万歩計に似たようなもの。スマートフォンアプリについては、スマートフォンでGPSを活用し歩数をカウントし、カロリー消費量を出すものがある。

Q スタンプラリー方式でポイントを貯めた時に特典等はあるのか。

A 近隣では、熊本県あさぎり町で実施をしているが、市が推

奨するイベントに参加すると、一定のポイントを付与され、ポイントが貯まった場合タクシー券や地域商品券に還元されたりしている。

Q この計画は地域密着や写真等も非常に親近感が湧き、大変分かりやすいものと感じているがどのように策定されたのか。

A 今回の計画策定は国が示した4つの基本方針に基づいて、関係課にヒアリングを実施し、栄養士、保健師を中心に職員で幾度も協議を重ね策定した。

② 議案第11号 えびの市介護保険条例の一部改正について

Q 第1号被保険者数、第2号被保険者数は。

A 令和6年2月15日現在で第1号被保険者数については8,116名。第2号被保険者数については5,025名。

③ 議案第12号 えびの市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部改正について

全てのサービス事業に共通する事項があり、その内容は書面揭示規制の見直し、管理者の兼務範囲の明確化、身体的拘束等の適正化の推進の3項目で、これらの事項について各条例の各事業にそれぞれ位置付けて

いる。
Q 今回の改正にあたり身体的拘束等の適正化を推進するため
の改正の解釈は。

A 身体的拘束等が高齢者虐待も含めて、全国的にもその事案が無くならないということが背景にあるために、身体拘束等の原則禁止とその記録の義務付けと身体的拘束等の適正化のための対策を検討する委員会の設置まで位置づけられる。

④ 議案第21号 市道の路線廃止について

⑤ 議案第22号 市道の路線認定について

（議案第21号と22号は関連する議案）

Q 約25m市道が短くなることで、入口が市道から外された等、住民への不都合はないのか。

A 道路に関しては、関係者に全員同意を得ているので問題はない。

Q 一体的な工事とはどのような計画を考えているのか。

A 県の工事で、令和6年度予算で工事を発注する。
Q この路線の終点付近の農地、畑の状況は。

A 終点より奥の土地については、農地はない。

⑥議案第30号 令和6年度えびの市国民健康保険特別会計予算について

Q 保険事業費マッサージ等施術料補助金80万円について、令和5年度の利用者数と、令和6年度の見込み者は。

A 令和5年度4月から12月分の執行状況実績で460件。令和6年度見込者は平均10回の80人分を見込んでいる。

⑦議案第33号 令和6年度えびの市産業団地整備事業特別会計予算について

Q 公債費の元金の償還金と利子の令和5年度末までの返済合計額は。

A 県の貸付金については令和5年度末見込みで、1億655万円。銀行借入金については4億3,760万6,280円。利子については、令和5年度末見込みで1,047万1,469円である。

産業厚生常任委員会

委員長 川野 亮



**令和5年度
予算等審査
特別委員会
報告**

3月定例会において当委員会に付託されました議案3件について審査を行いました。
審査の結果、討論はなく全会一致で原案のとおり決まりました。
以下、議案の審査内容について報告いたします。

議案第23号 令和5年度えびの市一般会計予算の補正(第11号)について【総務費】
地域おこし協力隊事業費
減額1,188万円

Q 地域おこし協力隊の雇用見込み4名に対して、2名雇用されているが業務内容はどのようなものか。
A 2名のうち1名は、飯野高校の教育魅力化コーディネーターの業務で、もう1名は、地域商社の地域おこし協力隊の業務である。不用額として計上されている、雇用ができなかった地域おこし協力隊の2名は、どのような業務

に従事される予定であったのか。

A 飯野高校関連が1名、地域商社関連が1名足りていない状況であるが、地域商社に関しては、最近応募があり、面接等で問題がなければ、任用する予定である。

Q 飯野高校は1名足りていないということであるが、業務に支障はなかったのか。

A 飯野高校では1名のコーディネーターを採用しているため、現在のところ支障は出ていない。

Q 地域商社関連の1名の業務内容はどのようなものか。

A ふるさと納税の中間処理業務を現在、県外の事業者へ委託しているが、地域商社が設立(令和6年2月9日)されたことにより、令和6年4月以降の業務を、地域商社に請け負ってもらうため、業務の準備、作業を行っているところである。

地域商社事業費

ふるさと納税返礼品写真撮影委託料
減額671万円

Q 不用額の理由は。

A 事業者から、市には写真の帰属はないという回答があり、市としては、取り急ぎ写真を撮り揃える必要があるという判断で、予算を計上したものであり、その後、加

工が一切入っていない写真に関しては、市にも帰属があるとのことである。事業者との調整につき、今回の減額に至ったものである。

Q 著作権・使用権、特に映像撮影に関しては、契約を結ぶ段階からしっかり確認をと言っている。新年度に向けてもしっかりやって欲しいがどうか。

A 4月から、新しい地域商社の形で契約を結び直すことになるので、契約の整理をして、しっかり明記をする予定である。

能登半島地震災害義援負担金

Q 事業説明書では、宮崎県市長会臨時会において決定したものとということだが、どのような形で被災地に送られるのか。

A 義援金については、令和6年3月26日までに宮崎県市長会の口座に振り込み、宮崎県市長会から、石川県の市長会へ送金されることになっている。

【民生費】

**障害者支援事業費
補償金**

Q 説明書の内容から市の落ち度ではなく、国がこれまで加算しなければならなかったものである

119万5千円

と理解している。この補償金には、消費税の延滞見込み額等も計上されているが、この対象となる事業者とは経緯についての説明や、今後支払う計画等について協議ができていないのか。

A 今回、対象の相談支援事業所は西諸2市1町で契約を結んでいる1法人である。その法人の税理士の判断も、「第1種福祉事業所」であるということで、お互いに非課税であることの確認は取っていたが、今後については、その社会福祉法人から申告をして頂いた後、速やかに補償金額を確定し、支払う方向で3市町で協議している。

【衛生費】
スマートウエルネスシティ推進事業費
手数料
減額44万円

Q 今期定例会にスマートウエルネスシティに係る計画書も議案として提出されていることを考えると、この講演会は啓発としてやるべきではなかったのか。講師のスケジュール調整は叶わなかったのか。

A 筑波大学の久野教授を講師として選定していたが、新型コロナウイルス感染症が第2類から第5類に変わったことによって、講師が自粛していた講演会等の再開や、

他からの講師依頼や他の業務が増したこともあり、講師と日程調整したが定例会の開催中にしか空きがなく、令和5年度中の開催が叶わず減額となったものである。

【農林水産業費】
肥料価格高騰対策支援事業補助金
減額293万4千円
Q 不用見込み額の減額が大きく、補助金の約3分の2減っている。この理由は。

A 減額の理由は、市内の作物の作付面積を予想し、平均的な肥料散布額をもとに補助金額を試算したが、肥料の高騰により、生産者が化学肥料の購入を控えたことにより、減額となったものである。

Q 化学肥料を買わなかった農家はどのような肥料を使ったのか。
A 補助を出す条件として、有機肥料の導入を図るように推進してきたので、その結果だと思える。

【地域計画策定推進緊急対策事業費】
減額293万3千円

Q 今回、不用額が計上されているにもかかわらず、令和5年度末には、当初の計画を上回る4つの地区で、目標地図素案完成の見込みになるという良い成果が出ているが、その要因は。

A 畜産農政課が保有している農振システムを一部活用することで、より大幅な事業推進ができたものである。

【消防費】
自主防災組織設立報償金
減額95万円

Q この事業で、減額が計上されているが、要因は。

A 地域福祉推進委員会や自治会の役員会等に出向き推進は図っているが、理由としては、人口減少や高齢化により、これ以上、役に就くことができないということや、土砂災害や浸水の恐れのない地区であることから、自主防災組織の必要性を感じていないという意見があり、設立に至っていないものである。

Q これから先も設立が見込めないようであれば、広域化を図り他の自治会との共同で自主防災組織を立ち上げるようなことも検討の余地はあると思うがどうか。

A 担当課としては、地域の防災力の向上ということで、更に組織の設立数を増やす取り組みを考えている。

令和5年度予算等審査特別委員会

委員長 松窪 ミツエ

令和6年度 予算審査 特別委員会 報告

3月定例会において、当委員会に付託されました議案1件について審査を行いました。

審査の結果、修正案が提出され、討論の結果、修正案は賛成少数で否決、原案は賛成多数で決まりました。

以下、議案の審査内容について報告します。

議案第29号 令和6年度えびの市一般会計予算について

【教育費】

小学校教育振興費

5,929万2千円

Q 教科書改訂に伴い、デジタルICTの活用も併用した形の授業ができるように、その部分も加味した教育振興の予算になっているか。ICTを取り入れることで、新規で計上しているものがあるか。

A タブレットの活用がより進んでいるところである。今回、子ども達が使う学習用のドリルソフトウェアを導入して、よりICTの

活用を進めていきたいと考えている。

文化財保護管理事業費

国登録有形文化財管理委託料

1,93万3千円

Q この事業の委託先と業務内容の説明を求めらる。

A この事業は、享保水路太鼓橋及び鰻躰橋の保全業務である。

令和5年度に雑木等を伐採した結果、雑木の根が石垣の内部に伸びている状況があり、繁茂を防ぐために令和6年度も継続して業務を行うものである。受注者については、石橋の高低ところでの作業をするための資格と、車両機械を有している県内の業者に業務を委託する計画である。

【意見】 鰻躰橋や太鼓橋は石橋で、雑木の根が入ると石が壊れてしまうので、文化財を守ることに着眼点を置いて、委託先に説明をして業務を実行してもらいたい。

【商工費】

商工会館建設補助金

1,550万円

Q この財源は、森林環境護与税と一般財源であるが、最終的には交付金の充当ができるのか。

A 事業費の一部に関しては、森林環境護与税の基金を充当することを予定しているが、残りの財源は一般財源で考えている。

Q 建設資材価格が高騰している中、これ以上に、えびの市に補助金を求められることについて、しつかり話し合いをしているのか。

A 物価高騰も踏まえて設計されているので、商工会側は、これ以上の予算と財源は考えていない。予算の中で収まるという前提で計画が進められている。

【総務費】

広報事業費

システム使用料

1,05万6千円

Q LINE公式アカウント対応ツールは、搭載数や中身によって使用料は変わるものなのか。

A LINEに関しては、投稿数によって使用料が変わることはない。

Q 他の自治体と比較したときに、えびの市の情報量が少ないが、しつかりとした配信ができるように、検証や研究をしてもらいたいと思うが。

A 内容としては、災害情報、日常生活のゴミ処理、日曜当番医などの必要な情報発信をしているが、それ以外にもイベント等、様々なことについても今後搭載を検討していく考えである。

移住・定住推進事業費 移住支援金

2,000万円

Q 移住制度には、東京圏からの移住、3大都市圏等からの移住、えびの市独自の移住支援の3パターンがあるが、これらの世帯数はどのように決められたものか。

A この世帯については、これまでの実績等をみながら計上したものであり、東京圏からの移住者分は国の交付金を活用しており、3大都市圏等からの移住者分は県の補助金を活用している。それぞれ補助率は4分の3となっており、今回、新たに国・県制度の対象にならない、それ以外の県からの移住者に対しても支援を行うことで、移住者の増を図るために、計上したものである。

心のふるさと寄附金推進費

9億5,720万円

Q 他の自治体で返礼品の偽装問題があったが、市の返礼品400品目について、行政が地産のものであるかの調査をしたことがあるのか。また、1年に1回は調査が必要だと思うが、そういった考えはないか。

A 注意喚起は文書で行ったが、実際に検品等を行ったことはない。県内のふるさと納税を行っている自治体での担当者会議では、再

発防止のための取り組みをしているところである。事故が起きる原因として、事業者の能力以上に返礼品の受注を受けるところに、一番の問題があると考えている。在庫をしつかり整理、整備していくことが肝要であるので、事業者には必ずフィードバックをかけて在庫調整などに取り組んで行きたい。

地域公共交通対策費

路線バス通学支援補助金

388万3千円

Q この事業は、今回、新規で予算計上されているが、吉都線利用者が減少するのではという懸念もある。どのような検証をされたのか。

A えびの市職員と小林市職員が路線バスに一定期間乗り、実態調査を行った。その結果、バスの需要はあるが金額面で利用してない実態があった。吉都線利用に関しては、京町温泉駅でも定期券を購入できるように簡易委託を始め、JR、路線バス、双方の利用促進を図れるよう検討した。

【民生費】

子ども・子育て支援事業費

地域子育て支援センター事業委託料

1,295万9千円

Q 地域子育て支援センターにつ

いて、令和6年10月から新たに1ヶ所の開設とあるが、その増設の必要性とは、また、どこに開設するのか。

A 経緯については、令和4年度に実施した市民意識調査の中で「保育園に預けずに育児するため「保育園が少ない」、「現在の真幸地区の支援センターが1ヶ所だと飯野地区の人は遠くて通いづらい」などの意見があった。こういった意見等を踏まえ、利用者の割合の多い飯野地区に支援センターを開設するための予算である。

【衛生費】
西諸市町就学サポート貸付金制度
出資金

Q 令和5年度はこの事業はなかったと思うが、これを計上した理由はなにか。

A この出資金については、平成27年に小林看護医療専門学校を設置した際に、就学サポート貸付金制度を設けたものである。令和6年度は、出資の原資が不足することが見込まれるため、今回、予算計上したものである。

【農林水産業費】
農産園芸事業費

有機農業産地づくり推進事業補助金
796万円

Q 本市が推進しようとしている事業だが、実施計画は出来上がっているのか、どのように取り組んでいくのか。

A 計画については、3年間の予定で作成している。担当課としては、有機栽培・慣行栽培の両方が一緒に成長していくような取り組みに持っていきたいと考えている。

畜産振興事業費

未利用資源活用モデル事業補助金
700万円

Q おが粉に代わる畜産敷料の新たな開発ということだが、この機械の導入は、畜産業者が対象か、一般的に誰でも対象になるのか。

A この事業の機械導入の公募に關しては、畜産農家や、全く畜産に關係のない法人等の可能性もある。この事業を十分理解してもらえる業者を公募したいと考えている。

【土木費】

道路補修費
支障木伐採委託料

499万4千円

Q この事業は、伐採の要請が市が巡回する中で、ある程度選定し、伐採していく計画なのか。

A 地元や、個人からの要請もあるが、市が道路のパトロール

をして支障や危険性が高いところを選定していこうと考えている。高さと言うと約4m程度で、通行車両に影響を与える範囲、民地については、持ち主が分からない場合や、すぐに切らないと通行に影響があるというものに関してだけを、この事業で対応していく予定である。民地については個人対応が基本となっている。

河川公園管理費

移動式トイレ等購入費
1,821万1千円

Q 移動式トイレは、災害を見込んで、移動するトイレなのか、概要の説明を求めます。

A その通りである。震災による災害への対応を考慮して移動式としたところである。河川内には設置せずに堤防敷の方に設置を計画している。震災があった箇所にトイレに積んで運ぶ形になる。

市営住宅改修事業費

2,180万7千円
栗下A団地1階46号室の改修

Q 後の入居者募集はどのような形ですか。

A 令和6年度に工事を実施し、令和7年度に高齢者を対象に募集することになる。

Q 内覧会を実施する予定はあるか。

A 内覧会等を計画している。

【反対討論（原案に反対）】

予算審査特別委員会の中で伺ったことも計画策定業務について、質疑の中で担当課の話は、庁内13課にまたがる調整、市が主催するいろいろな委員会の意見の取りまとめ、また国が定める各種法律にも合致したものの、これまで市役所が策定している諸計画を合体してまとめる必要性等、いろいろなデータを取り揃えなければならぬというような答弁であったが、今、インターネット等でもいろいろ入手することができ、また、これまで市役所で作った総合計画やいろいろな計画を策定する中で、諸データは十分に揃っているはず。今回の業務に本当に必要なデータは、市役所が自ら持っている市民の人たちのデータが一番重要なものであると考えられる。職員的能力向上を図り、使い勝手が良い実効性の高い計画を作るためにも、市役所職員が自ら作るべきと考える。

令和6年度予算審査特別委員会

委員長 松窪 ミツエ

えびの消防署の現状について



川野 亮
議員



救急搬送の状況は。

企画課長 20年前600件、10

年前811件、令和5年932件。

質問 全ての車両を動かす時には人員が不足とを感じるが。

市長 西諸広域行政事務組合は

2市1町で各首長が理事となり、

職員の数を決め、西諸広域行政事

務組合議会で議決いただいている。

全体的にバランスをとった人員である。

質問 現在のえびの消防署の総人員は何名か。

企画課長 昨年4月1日付で署

長1名、職員20名配置され2交代勤務である。

質問 現在の車両の状況は。

企画課長 ポンプ車1台、タン

ク車1台、救急車1台、査察広報車1台、多目的資機材搬送車1台。

質問 ポンプ車、タンク車、救

急車の規定乗務人数は。

企画課長 救急車は3名、ポン

プ車、タンク車は2〜3名で対応している。

質問 一日の勤務職員数は。

企画課長 状況によって大きく

違う時があるが、署長を除き5〜6名で対応している。

質問 10年前、20年前と比べて



えびの消防署

日本脳炎ワクチン接種漏れ対策について



阿部 哲己
議員

種通知を送付している。

質問 20歳以上の人は、病院等

でワクチン接種を希望すれば自己負担で任意接種ができるはずだ。

国が積極的勧奨をしなかった時期

に、日本脳炎ワクチンを接種しな

いままになつた方々に、ワクチン

の接種を希望すれば出来ることを

きちんと案内すべきではないか。

こども課長 接種できてない方の記録は無いが、日本脳炎ワクチ

ンの必要性など、市民の目に届く

ような形で、啓発、周知をしていきたい。

質問 日本脳炎のワクチンが令和3年に供給不足となり接種できなかった子供たちに、どのように対応されているのか。

こども課長 未接種の子供の保護者に接種を働きかけている。対

象者に対して、昨年度より国からの対応要請に従い、再度通知も

行った。

質問 平成17年から5年間、日本脳炎ワクチンによる重い健康被害の恐れがあり、積極的勧奨を中断した時期にワクチン接種しな

かった人には、特例措置で無料で

接種できる制度があるとのことだ

が、対象者への周知はどう行っているのか。

こども課長 特例接種は20歳未

満が対象で、期限前の18歳時に接

種が対象で、期限前の18歳時に接

種が対象で、期限前の18歳時に接

種が対象で、期限前の18歳時に接

種が対象で、期限前の18歳時に接

種が対象で、期限前の18歳時に接

種が対象で、期限前の18歳時に接



えびの市弓道場「誠心館」の建て替えは



本田 英俊
議員



質問 京町のえびの老人福祉センター裏にあるえびの市弓道場「誠心館」は、昭和48年に飯野小学校を建て替えた時の廃材で作られたと言われているが本当か。

社会教育課長 飯野小学校が建て替えられた時に木造校舎を移築して建てられたそうで、築50年になると聞く。

質問 耐震性が気になるが耐震診断はされた事があるか。

社会教育課長 誠心館は、当時の耐震基準は満たしており、現在の法律上の耐震建築物に当たらないため、行っていない。

質問 真幸中学生が4名弓道を始めたり、飯野高校弓道部員も使っている。耐震性確保について、教育長はどう考えるか。



えびの市弓道場「誠心館」

教育長 能登半島地震の様な地震では倒壊の危険があるが、現状では地震が起った時の行動が重要なので、避難訓練等、弓道連盟の皆様と話し合いながら、進める。

質問 市長の施政方針にも老朽化の施設は、修繕、改修を計画的に進め、安全安心な文化、スポーツの環境作りに取り組みとある。新築する考えはないか。

市長 施設の管理をしている教育委員会の考え方を尊重しながら対応したい。

Well-beingなまちづくり



遠目塚 文美
議員



質問 災害時、ライフラインの損傷で水の確保が出来ない際、井戸水を活用して補完する体制を自主防災組織で検討してはどうか。

基地・防災対策課長 自然流いや井戸の把握等、地域現状に合わせた訓練も必要だと考える。リーダー研修や防災研修等で提案し、共助による地域防災力向上に努める。

質問 SNS等での相次ぐ誹謗中傷等の被害や加害を防ぐため、条例制定の検討は出来ないか。

総務課長 SNSによる人権侵害は大変危惧している。「あらゆる差別をなくし人権を守る条例」の具体的な防止策や他事象も考慮した段階の条例として検討する。

質問 ライドシェア導入検討は。

企画課長 2次交通が脆弱なえびの市にとってメリットが大きい。早ければ6月に第2段の制度改正予定と聞いているので注視する。

質問 データセンター誘致は。

企業立地課長 固定資産税の増収、企業のBCP対策、IT産業の集約等、今後の動きに注視する。

質問 防衛環境の変革期における、えびの駐屯地の増員・増強はないか、明るい兆しを感じているか。

市長 具体的な答えは受けていないが、明るい兆しを感じている。



えびの市役所の職員の定数について



卯庵 後
議員



質問 当市財政における人口一人当たり人件費は増加しているが、市職員の定数管理は行っていないのか。

総務課長 特段の定数管理計画はなかった。

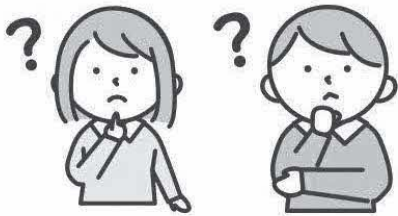
質問 これに対する執行部の問題認識について問う。

総務課長 令和5年に業務量調査を行い、適正な人員配置等について検討することとしている。現状を見据え、持続可能な行財政運営を見直す。

質問 総務省の令和5年公開分の地方行政サービス改革への取り組み状況等に関する調査における調査票③の14項目、具体的には定数管理、給与制度、他自治体との連携、共同の推進、業務改善の取

り組み、民間委託の推進、組織マネジメントの見直し、人材育成の推進、ICTの活用、業務の標準化、資産・債務改革、情報公開・透明性、市町村への権限移譲、その他、全て無回答であるが何もしていないのか。

総務課長 指摘の資料については、そのような状況になっているところである。



新事業への取り組みに期待する!!



松窪 ミツエ
議員



質問 キャリア教育支援センター設置について、その取り組みは。

教育長 キャリア教育は、学校教育の中では非常に重要な教育だと思っている。キャリア教育支援センターは、子ども達一人ひとりの社会的、職業的自立に向けて、キャリアの発達を促す教育を推進するために、大事なセンター組織であると認識している。令和7年度にスタートを考えている。

質問 重層的支援体制整備事業の本格的実施の予定はいつからか。

福祉課長 地域共生社会の実現に向けた包括的支援体制の構築を令和7年度から本格的に目指す。

質問 能登半島地震支援職員の派遣についての考えはあるか。

市長 宮崎県から派遣可能職員

の照会等を受けている。可能な限り協力をしたいと思っている。

質問 畜産の臭気に対する苦情等を受けているか。

畜産農政課長 苦情は受けている。その対策として、農地への堆肥散布については、早期の耕うん指導を行い、農場からの臭気については、農場主と一緒に農場環境と使用環境状況の確認を行い、改善に向けての指導を行っている



農業キャリア教育

緊急患者搬送体制確立を



吉留 優二
議員



質問 緊急指定病院は、検査・診断・手術・入院が、24時間体制で提供できることが理想だが、緊急指定病院であるえびの市立病院では、医師不足、検査体制の脆弱さ、病床使用状況などから日中の外来診療に加えて、病院単独での理想に近い緊急体制を取ることが現実に近い困難な状況になっている。このような医療体制では緊急医療病院として二次緊急医療の役割をはたしているとは言えない状況にあるが、市長の見解を伺う。

市長 完全な体制での救急受け入れができない状況ではあるが、一定数患者の診察はでき、緊急医療の役割は果たしていると考え、病院経営も含め医療サービスの充実を図り100%の受け入れは厳

しいが一定程度の役割は果たしていきたいと思っている。

質問 市民の皆様には、地域に緊急医療の確立が必要不可欠だが、緊急医療の提供と体制確保の解決策を伺う。

病院事務長 緊急告示しているが脆弱な体制であり、今後、他緊急指定病院と連携強化を図り、頂いた意見を院内に伝え対策を講じる。



緊急医療搬送

今後の財政見通しの作成を!!



中山 義彦
議員



質問 市民サービスに直結せず、令和7年度までの8年間で1億円超の指定管理料を払うアウトドアビクターセンターは、当初の市の説明通り、指定管理者が自主運営するか、自主運営ができなければ一時凍結か中止を求める。

市長 新しい観光資源の提供はできているので、指定管理期間の収支のバランスも含めて、成果ができるように指定管理者とも努めていく。

質問 美化センター大型改修の検討状況を伺う。

市民環境課長 事業費約31億4千万円で工事を行う。改修工事の期間は、令和7年度から令和10年度までの4年間で予定している。

質問 美化センターの改修費と

定期修繕費年間約1億5千万超も含めた財政見通しを作ってもらいたい。

財政課長 5年間の財政見通しは、今年11月前には作成する。

質問 風力発電等の開発事業に市が取り組む考えはないか。

市長 民間事業者へのサポートはしていくが、事業主体として事業を行う計画は無い。



美化センター

子供達の未来のために！



加藤 正善
議員



質問 子育て世帯支援についての予算はどれくらいか。

こども課長 令和5年度の当初予算額のうち、こども課分の国、県の補助金を含めた金額は8千54万8千円である。

質問 市長は現在の支援で満たされていると思われているか。

市長 先進的な取り組みは出来ていると思っている。

質問 市内の現状のデータを把握されているか。

市長 えびの市の状況は把握できている。

質問 ひとり親世帯への他市他県の良い制度を取り入れてもらえないか。

市長 しっかりと検討していきたい。



未来への架け橋

質問 市内通信環境整備の目的とは。

企画課長 フリーWi-Fiの環境整備は観光振興、防災対策、行政サービスの向上を目的としている。

一般質問にある

QRコードは何？



〇〇 〇〇

議員



このQRコードを読み取ると各議員の一般質問の動画を観ることができます。

議会傍聴しませんか

えびの市議会では年4回「定例会」を開催します。定例会は約1ヶ月かけて行われ、多くの議案を慎重に審議します。予算の執行状況や現状、今後の方針などについて説明や報告を受けます。このほか市政についての一般質問を行います。

えびの市議会では、公正性及び透明性を確保するために市民に開かれた議会を目指しております。

手続きは本会議当日に、本庁3階の議会事務局で自分の住所・氏名を傍聴申請書に記入するだけで、どなたでも傍聴できます。

ただし、ルールやマナーをお守り下さい。

議場に来られない方も、議会を自宅等のインターネットでも視聴できます。





総務教育常任委員会管外視察



■日時・場所

令和6年2月15日（木）
宮崎県新富町

■視察目的

指定管理者制度による公共施設の維持管理について
特に、新富町におけるサッカーによるまちづくりの舞台、三納代地区地域活性化エリア計画と指定管理者制度について

■町の概要

人口約16,100人、面積約61k㎡の町で、人口はえびの市とほぼ同じで、面積は4分の1以下、国道10号、日豊本線が通り、宮崎市中心部、空港にも30分圏内、更に新富スマートインターチェンジの工事が始まっている。

農業は畜産、米、路地やハウスでの野菜栽培が主で、漁業はウナギの養殖がある。

航空自衛隊新田原基地がある。
新富町のまちの基本ビジョン「子や孫たちが帰ってきたくなるまちへ」

■視察内容

今回、三納代地区地域活性化エリ

ア計画を中心に視察したが、この場所は国道10号に一部分が面した約9ヘクタールの土地。

上空を自衛隊機が飛び、騒音がひどいため平成20年頃からどう活用するか、課題のある土地であった。そこで、この土地を3つのゾーンに分けた。

- 1「地域活性化ゾーン」
- 2「農業生産振興施設ゾーン」
- 3「企業誘致ゾーン」

（※今回は特に、1「地域活性化ゾーン」の指定管理を視察）

①【新富テゲバサッカースタジアム】（いちご宮崎新富サッカー場）

敷地面積が4.2ヘクタール、天然芝のサッカー専用スタジアム、13億円をかけて民間企業が建設。その後、新富町に寄付し、利用料や広告収入で建設した企業が運営する。

この施設の月平均入場者数は3,500人、月平均収入は350万円。

町からの指定管理料は無い。

②【新富町フットボールセンター】
防衛省補助金11億円などを使い総工費17億5千万円、指定管理者は一般社団法人宮崎県サッカー協会
で、利用料、広告料で運営、月平

均入場者数は6,000人、月平均収入は90万円。
町からの指定管理料は出ていない。逆に収益の半分は新富町に還元しており、人工芝の張替の費用等に積み立てている。

この新富町の事業の中心は2つのサッカー場の経営で、テゲバジャール宮崎のJリーグ参入に商工会なども連携し支援している。

女性アスリートによるヴィアマテラス宮崎は、新富町が全面的に支援しているチームで、国の地域おこし協力隊制度を利用し、サッカー選手を地域おこし協力隊員として採用、女性アスリートによる地域活性化事業としている。

また、企業版ふるさと納税制度で集めた3億円を活用している。（なでしこリーグ2部優勝）

■経緯

新富町は課題のある土地を活用したいと考えていた中、テゲバジャール宮崎が本拠地となるスタジアムの建設地を探しており、宮崎市から30分程の距離という地の利もあって、テゲバジャール宮崎の誘致が成功した。

サッカー場は企業の資金や防衛省の補助金で建設し、その後の管理運営は利用料、広告料で運営されており、逆に町に収入も入って来ている。年間10万人程度の人が新富町を訪れ関係人口が増えた。

デメリットは、施設の修理料（10万円以上）は町の負担である。サッカー場に隣接する「農業生産振興施設ゾーン」では農産物直売所の建設が始まっており、年間の売上目標10億円を見込んでいる。

■結論

今回新富町が開発している「三納代地区地域活性化エリア」は、かつては戦闘機の離着陸の音がひどく、問題の土地であった。

この場所に2つのサッカー場を作り、民間企業の資金や、防衛省補助金などで建設費用を少なくし、指定管理料も出すことなく、管理運営が出来、さらに企業版ふるさと納税や地域おこし協力隊制度も使い、地域活性化につながっている。

総務教育常任委員会

委員 本田 英俊

産業厚生常任委員会管内視察

■日時・場所

令和6年1月23日（火）

産業団地及び真幸園

■目的

産業団地の工事状況等について真幸園の指定管理者による管理状況について

■調査内容

【産業団地】

①マルゼングループ協同組合

・事業内容 倉庫業を中心に、倉庫を荷主に賃貸提供する。

・取り扱い予定品目 雑貨、家電食品、建材など多岐にわたる商品。

・雇用計画 入居する荷主分を含め、百名超の新規雇用を予定している。

・工事状況 令和6年5月末に工事完了、操業は同年8月の見込みである。荷主予定の進出会社として、物流、医療機器卸業等の会社を予定しているとの説明だった。

②株式会社一心商事

・事業内容 豚肉の食肉加工を行い、ふるさと納税返礼品として提供する。

・雇用計画 15名を予定している。
・工事状況 令和6年3月工事完

了、同年5月には操業見込みである。操業後、工場から出る排水については、浄化された排水がなされるとの説明だった。

■総括 進出企業の建物建設は、視察時点の説明によると順調とのことだった。調整池の雨水調整管理もなされており、今後の対策としては、豪雨時の雨水調整管理や周辺の除草及び整備等、また安全管理も怠ることなく注視していく必要がある。

【真幸園】

・事業内容 養護老人ホーム

・定員 長期50名、短期4名

■総括 コロナ禍において、面会や地域との交流等を自粛する時期もあったが、テレビ電話やSNS活用等の工夫を行い対処した。ICT導入による事務処理の効率化、配膳等の運搬ロボットの導入で業務負担の軽減を図り、※プリセプター制度の導入、人事考課制度による職員教育の充実もなされていた。

産業厚生常任委員会

委員 後庵

卯

(※プリセプター制度…先輩職員が新人職員をマンツーマンで指導する制度)

産業厚生常任委員会管外視察

■日時・場所

令和6年2月6日（火）

J Aあしきた

■目的

(熊本県水俣市、葦北郡芦北町) 水田裏作の取組に関する調査

■調査内容

【サラたまちゃん】

・水俣で昭和36年から水田で裏作としてタマネギを栽培する。サラダで食べても美味しい特色を生かし、「サラたまちゃん」と命名し、商標登録をする。

【いちご観光農園】

・熊本県オリジナル品種の「ゆうべに」「恋みのり」を取り扱う道の駅隣接でバリアフリーのため利用しやすい利点がある。

【果樹栽培（主にかんきつ類）】

・生産者、出荷量ともに減少傾向にあるが、担い手対策、農地集積・基盤整備、省力・高品質化の技術導入に取り組んでいる。

【道の駅芦北でこぼん】

・デコボンゼリー等モンドセレクトション入賞の加工品も取り扱う。各種イベントを行い、魅力を高

めている。

■総括

地域の資源を活用した商品を販売し、ターゲットエリアとの交流をはかり、ファン形成、地域PR、ブランド化を行っている。一貫したプロデュースや、目標が明確であり、連携がなされていた。当市でも専門的な調査研究、プロデュース、各所の連携が重要であると考える。

産業厚生常任委員会

委員 後庵

卯



サラたまちゃん

令和5年度・西諸地区森林・林業・林産業 活性化議員連盟連絡会議 議員研修会

【日時】 令和6年1月30日(火)

【場所】 えびの市飯野地区コミュニティセンター

【参加議会】

えびの市議会
小林市議会
高原町議会

【研修内容】

演題… 「森林・林業・木材産業の現状」

九州森林管理局及び宮崎森林管理署都城支署の取組

講師… 林野庁 九州森林管理局

宮崎森林管理署都城支署 支署長 塚本 徹氏

国は、「バリ協定」を踏まえ、2050年カーボンニュートラルも見据えた森林・林業基本計画を2021年に閣議決定した。この計画の基本的な方針は、森林を適正に管理して、林業・木材産業を成長・発展させて、森林の持つ、災害防止・温暖化防止・水源涵養機能等の多面的機能を健全に維持

することが重要と位置づけている。そのためには、間伐や主伐後の再造林で健全な森林を育てることが必要で、間伐の着実な実施と「伐って、使って、植える」という資源の循環利用を進めることが有効としている。

また、新規就労者の確保と現場技能者の育成を図るとともに、大型車両の対応できる林道の整備や高性能林業機械の使用やICTによる生産管理や生産性の向上も図っていく。

なお、九州森林管理局・都城支署の取組みとしては、九州・沖縄は森林面積の約2割を国有林が占めており、国有林のスケールメリットを活かして、先駆的手法による低コスト造林技術を確保し、民有林への技術普及を図るとの説

明がありました。今後、森林が持つ多面的機能を維持、向上するための森林・林業・木材業の今後の取組に議会も注視し、「災害に強い森林づくり」実現に向けた提言、提案を行っていきます。

中山 義彦

令和6年1月臨時会 議案等審議結果表

1. 議案等

付託委員会	番号	件名	審議結果	竹中	加藤	後庵	本田	川野	阿部	小宮	吉留	中山	遠目塚	田口	松窪	西原	栗下
	報告第1号	専決処分した令和5年度えびの市一般会計予算の補正(第9号)の承認について	原案承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第1号	えびの市使用料及び手数料条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第2号	令和5年度えびの市一般会計予算の補正(第10号)について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

令和6年3月定例会 議案等審議結果表

1. 議案等

付託委員会	番号	件名	審議結果	竹中	加藤	後庵	本田	川野	阿部	小宮	吉留	中山	遠目塚	田口	松窪	西原	栗下
	諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦について	別段意義はない	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
総務教育	議案第3号	辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
総務教育	議案第4号	えびの市水道事業経営戦略後期計画の策定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
産業厚生	議案第5号	元気で健幸なえびの市づくり計画の策定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
総務教育	議案第6号	第4次えびの市男女共同参画基本計画の策定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
総務教育	議案第7号	えびの市監査委員条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
総務教育	議案第8号	えびの市空家等対策審議会条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
総務教育	議案第9号	えびの市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例及びえびの市職員の育児休業等に関する条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
産業厚生	議案第10号	えびの市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

令和6年3月定例会 議案等審議結果表

付託委員会	番 号	件 名	審議結果	竹中	加藤	後藤	本田	川野	阿部	小宮	吉留	中山	遠目塚	田口	松窪	西原	栗下
産業厚生	議案第11号	えびの市介護保険条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
産業厚生	議案第12号	えびの市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
産業厚生	議案第13号	えびの市観光施設条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
総務教育	議案第14号	えびの市営住宅条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
総務教育	議案第15号	えびの市水道事業の設置等に関する条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
総務教育	議案第16号	えびの市水道事業給水条例及びえびの市水道事業布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
総務教育	議案第17号	えびの市病院事業の設置等に関する条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和5年度 予算等審査 特別委員会	議案第18号	えびの市国際交流センター運営基金条例の廃止について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和5年度 予算等審査 特別委員会	議案第19号	えびの市新型コロナウイルス感染症緊急対策利子補給基金条例の廃止について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
総務教育	議案第20号	えびの市青少年問題協議会設置条例の廃止について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
産業厚生	議案第21号	市道の路線廃止について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
産業厚生	議案第22号	市道の路線認定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和5年度 予算等審査 特別委員会	議案第23号	令和5年度えびの市一般会計予算の補正(第11号)について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
産業厚生	議案第24号	令和5年度えびの市国民健康保険特別会計予算の補正(第5号)について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
産業厚生	議案第25号	令和5年度えびの市後期高齢者医療特別会計予算の補正(第3号)について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
産業厚生	議案第26号	令和5年度えびの市介護保険特別会計予算の補正(第4号)について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
総務教育	議案第27号	令和5年度えびの市水道事業会計予算の補正(第4号)について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
総務教育	議案第28号	令和5年度えびの市病院事業会計予算の補正(第3号)について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和6年度 予算等審査 特別委員会	議案第29号	令和6年度えびの市一般会計予算について	原案可決	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
産業厚生	議案第30号	令和6年度えびの市国民健康保険特別会計予算について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
産業厚生	議案第31号	令和6年度えびの市後期高齢者医療特別会計予算について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
産業厚生	議案第32号	令和6年度えびの市介護保険特別会計予算について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
産業厚生	議案第33号	令和6年度えびの市産業団地整備事業特別会計予算について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
総務教育	議案第34号	令和6年度えびの市水道事業会計予算について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
総務教育	議案第35号	令和6年度えびの市病院事業会計予算について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第36号	第2次えびの市空家等対策計画の策定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第37号	えびの市税条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第38号	令和5年度えびの市一般会計予算の補正(第12号)について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第39号	令和6年度えびの市一般会計予算の補正(第1号)について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

／：議長は採択に加わらない ○：賛成 ●：反対 一：棄権 欠：欠席



議会広報特別委員会

委員 中山 義彦

春寒もゆるみはじめ、春風吹いて気持ちも高揚し、ようやく過ごしやすいく候となつてまいりました。温暖化のせい、早い春の到来を感じつつも、桜の開花は日本各地とも例年より少し遅れて見ごろを迎えています。

また、コロナ禍で停滞していたイベントも昔の盛況を取り戻しつつあり、まちが活況を呈する雰囲気になつてきました。

えびの市議会だよりも、市民の皆さまからのご意見を頂き、より見やすく、わかりやすい広報誌を目指して編集して参りたいと思います。

編集後記